

令和2年度 さいたま市立馬宮西小学校 学校関係者評価書

さいたま市立馬宮西小学校
学校関係者評価委員長 高橋 誠

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数

12人

(2) 実施回数

2回（2回目は緊急事態宣言中のため書面開催）

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために「新しい生活様式」に沿った学校生活が求められ、いろいろと制限や中止、延期があった中であるが、できることを進めていたようだ。
- ・学校教育目標については何も問題はなく、非常に良いと思う。それをどのように行っていくか、実施した上でどこが良くてどこが悪かったかを互いに情報共有して改善していくことが大事だと思う。
- ・地域としても新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動（手洗いうがい等の励行）を行ってきたい。
- ・学校評価アンケート集計結果から、「健康についての指導」と「学校での児童の様子や取組を保護者に知らせていること」の項目については、「十分満足」と「概ね満足」を合わせた回答率が100%だったことは良かった。
- ・令和2年度は馬宮西小創立145周年ということで記念ファイルの作成等、児童の笑顔の写真が見られてよかった。
- ・児童と教員の信頼関係をさらに深めていき、少人数学校の良さをさらに高めていってほしい。
- ・教科書だけで教えるのではなく、児童にわかりやすい授業をさらに工夫改善していくこと、また、大声で児童を叱る指導ではなく心に響く指導を推進してほしい。
- ・評価アンケートにおいて少数だが、「ほとんどできていない」「あまりできていない」と回答された理由・背景から適切な対応を図る必要がある。教員で「分からないので回答できない」と回答する数が多いことに疑問をもった。
- ・「保護者からの相談や要望に対して適切に対応」の項目については、「ほとんどできていない」と「あまりできていない」を合わせた回答が、8%（5名）の結果から改善を図る必要性を感じる。また、保護者と教師で見解の乖離が見られる。ごく一部の教師の対応が不十分だったのか、保護者の要望が課題だったのかを考えるなど、問題点の拾い出しを上手にやってほしい。
- ・児童の感想も聞いてみたらよいと思う。
- ・学校のイベントの実施の判断を保護者のアンケートで決定を委ねることはどうかと思う。高校や大学ならまだしも義務教育の小学校は責任を保護者に負わせることに疑問を感じた。馬宮西小学校側としての対応はどうするのかははっきりしてほしいところだった（教育委員会の対応は別として）。新型コロナウイルスに感染すると無症状でもリスクが大きい（後遺症や高齢者への家庭内感染など）ため、基本的に自粛を考えるのか。あるいは予防対策は具体的にこういったことを徹底実施しますので基本実施するつもりでいるのか。そういった学校側での基本対応に対して保護者にアンケートをして対応していただきたいかった。

<様式2>

学校関係者評価を受けた学校の対応

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の教育委員会からの指導を根拠に教職員の共通理解の下進め、児童や保護者、地域への発信を行い、理解を得ながら感染防止対策を今後も継続して行っていく。
- 保護者や地域の皆様からの本校に対する深い愛情、温かい目で見守ってくださっている思いを受け止め、その期待と信頼に応える学校を目指して「地域に開かれた学校づくり」に一層力を入れて取り組んでいく。
- 児童が安全に安心して学校へ通うことができるよう、いじめを見逃さない指導の徹底、登校指導体制の見直し、運動会等の熱中症対策、遊具や施設の修繕及び経年劣化への対応等を着実に進めていく。
- 教職員が研修を積み重ねることにより児童理解及び授業力の向上を目指す。市や外部の相談機関等も積極的に利用し、多岐にわたる児童の抱える問題を解決する糸口を探る手掛かりとしていく。
- 改めて個に応じた学習指導・児童に寄り添う生徒指導や教育相談の実現に向け、教員同士が研鑽を図りながら、「愛があふれる教育の推進」を目指す。
- 教職員が活力をもって児童と向き合う時間を確保する働き方改革を推進するとともに、経験年数に応じた校内での研修やフォローができるよう放課後等の時間を確保していく。また、学校職員が一丸となって職種を超えた相談・情報共有を積極的に行えるよう努めていく。
- 保護者の要望・適切な対応
 - (1) 保護者の意見の反映⇒意見箱設置・相談しやすい信頼関係・教育相談日の活用等
 - (2) 適切な対応⇒相互理解(互いの考えを共有)・多様で複数の窓口(管理職を含めた対応)等
- 次年度から、児童の考えを公表する。(毎学期実施しているアンケート結果活用)
- 校外学習実施について判断する際には、教育委員会から保護者の意向を聞き取る指示があり、また、12月等の懇談会(保護者説明会)において、学校で行う配慮事項ならびに学校ではできる限り実施したい意向を提示したつもりだったが、説明が不十分な面があり大変申し訳なかった。今後は保護者に十分に理解していただけるよう一層配慮を図りたい。
- 給食調理員等、児童に直接指導していない職員が、「分からないので回答できない」と回答していたので、次年度は内容によって教職員の回答者を限定していく。
- 保護者の学校評価アンケートにおいて1(ほとんどできていない)、2(あまりできていない)を選択した場合は具体的な意見や改善策等を記入していただき、次年度以降の学校経営に生かしていく。

さいたま市立馬宮西小学校長 赤木 伸年